

Kuroki Memorial Hospital

きずな kizuna



黒木記念病院は、
病院機能評価認定病院です



kizuna plrup
今月の
「きずな」写真

病院機能評価とは、国内の病院を対象に、組織全体の運営管理及び提供される医療について、日本医療機能評価機構（第三者機関）が中立的・科学的・専門的な見地から評価を行い、病院の質改善活動を支援するものである。「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践1・2」「理念達成に向けた組織運営」の4つの評価領域で構成される。

目次

Index

- 機能評価更新しました!
- おしえてドクター! Dr.深田健治
- 第1回黒木いきいき健康まつり
- 総合事業 ● 新入職医師を紹介します
- 平成30年度上半期のできごと(新入職員、亀川地踊り大会)
- 美味しく食べる健康レシピ
- 医療安全管理室・苦情相談室





病院機能評価認定を受けました!! 4回目の認定★★★★



黒木記念病院は、平成30 (2018) 年5月11日無事に病院機能評価の更新認定を受けることができました。平成15 (2003) 年に初めて病院機能評価を受審し、初回を合わせると4回目の認定となります。

病院機能評価とは、日本医療機能評価機構という中立的・科学的な第三者機関が、患者さんが安心して安全な医療を受けることができるように「病院の改善」を支援するために病院を評価するものです。サーベイヤーと呼ばれる専門調査者が実際に病院に来られ、百数十にもおよぶ調査項目を2日間かけて評価されます。

特に今回の特徴としては「症例トレース型ケアプロセス調査」という調査の方法が採用されており、手順や体制が整備されていることはもちろんのこと、患者さんなどに対して、実際どのように医療が提供されているかが確認される、より実践の質が評価されるものとなりました。

病院機能評価は5年に1度の更新となりますが(今後は3年後に中間評価が行われるようになりました)、定期的に第三者に評価していただくことは、患者さんに提供される医療の質や信頼度の向上に、非常に大きな効果があると考えています。また職員が一致団結し同じ目標に取り組むことにより、一層の連携や意識の向上に繋がる機会となります。

今後も引き続き質の改善に向け、課題解決に向けた取り組み、評価を高めるための取り組みを実施し、地域の皆様のご期待に沿える病院になれるよう職員一同努力して参ります。

今回の病院機能評価の審査結果

S (秀でている)	= 2項目
A (適切に行われている)	= 86項目
B (一定の水準に達している)	= 21項目
C (一定の水準に達しているとはいえない)	= 0項目

★ S 評価となった項目 ★

- ・療養環境を整備している。
- ・生活機能の向上を目指したケアをチームで実践している。

脳血管疾患の リハビリテーション

解説: Dr. 深田 健治

Kenji Fukata

— リハビリテーション科部長 —



脳血管疾患（脳卒中）のリハビリテーションは、急性期、回復期、生活期に分けて行われるのが一般的です。

脳血管疾患を発症すると、脳神経外科や神経内科のある救急病院に搬送され、急性期治療が行われます。一昔前であれば、この間ずっと安静を強いられていましたが、現在では状態にもよりますが、入院したその日、あるいは翌日から急性期リハビリテーションが始まります。安静による身体機能の低下（廃用症候群といえます）をできるだけ予防し、次の回復期リハビリテーションでの機能回復に備えるためです。通常、急性期治療は発症から2～3週間行われ、病状が安定すれば回復期リハビリテーション病棟のある病院に転院し、本格的なリハビリテーションが行われることとなります。

回復期リハビリテーションは、最長3ヶ月から5ヶ月間の入院で、可能な限り機能的、能力的改善を図ります。そのため、医師、看護師、介護士、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、歯科衛生士、臨床心理士といった多くの専門職がチームを組んで治療にあたります。入院中は訓練時間以外の、寝たり起きたり、食べたりトイレに行ったり、顔を洗ったり歯を磨いたり、服を着たり脱いだり、お風呂に入ったりといった病棟での生活すべてがリハビリテーションです。専門的な訓練で改善した機能や能力を、毎日の病棟での生活の中で定着させ、早期の社会復帰を目指すためです。

回復期リハビリテーション病棟を退院した後は、機能低下をおこさないよう、またより質の高い生活を目指して生活期リハビリテーションが行われます。一般的には、介護保険で行う訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション（デイケア）、通所介護（デイサービス）などがあります。

さて近年、医療の進歩は目覚ましいものがあります。リハビリテーション医療でも、新しい治療法や機器が開発され、臨床で使用されています。黒木記念病院では、6年前にロボットスーツHALを導入しましたが、今年9月には更にリハビリテーション支援ロボットのウエルウォークWelwalkを導入しました。ウエルウォークは、藤田保健衛生大学とトヨタ自動車が開発したもので、脳血管疾患などにより下肢に麻痺がある患者様の歩行を支援するロボットです。従来であれば歩行困難であった患者様も早期より歩行訓練が可能となり、運動学習理論に基づき効果的に訓練を進めることができます。その結果、入院期間の短縮やより高いレベルでの歩行能力の獲得も期待できます。



ウエルウォークを使用した訓練風景

これから地域の皆様のご期待に応えられるよう、スタッフ一同努力してまいります。ご質問等ございましたら、お気軽にお声かけください。

これから地域の皆様のご期待に応えられるよう、スタッフ一同努力してまいります。ご質問等ございましたら、お気軽にお声かけください。

平成30年6月10日

第1回『黒木いきいき健康まつり』が開催されました!!

黒木記念病院は地域に密着した医療機関として、「地域の皆さんの健康づくりをお手伝いしたい!」というコンセプトのもと、平成25(2013)年からいきいき健康塾という地域の方向けの健康教室を開催していました。

今回は5年続いていた、いきいき健康塾を大幅リニューアルした第1回黒木いきいき健康まつりの様子をレポートします!

定員先着100名のところ、定員を大きく上回るたくさんのご応募をいただきました。今回ご参加いただけなかった方は、来年も是非ご応募ください!

開催日:平成30年6月10日(日)

会場:黒木記念病院 参加費:無料

①10:00 開会式



②10:30 健康講座

1時限目 10:30~11:00

2時限目 11:30~12:10

お昼休み 12:10~13:00

3時限目 13:00~13:40

各会場で行われている4つの講座から、お好きな講座を自由を選んで参加していただきます!

お昼休みにはヘルシー弁当とお茶付き!



講座「あなたの骨は大丈夫?」 Dr. 野口



運動「動くカラダ・動かないカラダ」リハビリ職員



講座「知って得する転倒予防」 Dr. 黒木



講座「肺炎よさらば!」 Dr. 伊東

③14:00 演芸大会と大抽選会



楽しい余興と健康グッズの大抽選会!



来年も皆さんのお越しをお待ちしております!!

新入職医師を紹介します



整形外科 佐々木 伸一

Sasaki Shinichi

平成 30 年 4 月 1 日整形外科医として入職された佐々木伸一医師
(整形外科専門医)

大分県大分市出身

平成 7 年福岡大学医学部卒業後、同大学整形外科医局に入局
医局時代は国内多数の医療機関で勤務し、整形外科医として研鑽された。
平成 23 年からは大分赤十字病院整形外科で 7 年間、大分県の整形外科
の最前線で多くの患者さんの治療に携わられてきた。

●趣味：ゴルフ

●一言：頑張ります！これからよろしくお願いします！

黒木記念病院は、行政と連携して 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)に 積極的に取り組んでいます！

別府市から委託を受けて行っている事業は

- ① 北部地区元気はつらつ塾（北部地区公民館：木曜日午後）
朝日大平山地区元気はつらつ塾（朝日大平山地区公民館：月曜日午後）
- ② 短期集中リハビリ特化型デイサービス（毎週火曜日午後）です。



別府市高齢者福祉課の保健師さん
包括支援センターのケアマネさん

一般高齢者や要支援 1 または要支援 2 の認定を受けている方で機能の低下や改善が必要な方に対し運動や栄養・口腔の機能向上と認知症予防などの介護予防に資するプログラムを専門スタッフが実施することで、要介護状態になることを予防し、その居宅において自立した生活を確立できるように支援します。



- ③ 住民主体の通いの場をケアセンター 2F のふあんふあんに提供し、週 1 元気アップ体操毎週水曜日午前平田町や照波園町の方が行っています。



平成30年度 上半期のできごと 緑タイトル: 春日会内の行事・出来事
オレンジタイトル: 地域のイベント

4月2日 入社式 **今年も17名の頼もしい仲間が加わりました!**



入社式



新人研修

8月3日 亀川地踊り



(表彰)



(集合)



(踊り)

8月14日 照波園町
平田町合同供養盆踊り大会





「ぶなしめじご飯」



栄養給食科
科長 管理栄養士

豊嶋知恵美

【材料 / 2人分】

米	1合
ぶなしめじ	100g
油揚げ	0.5枚
(調味料)	
醤油	小匙 1/2
薄口醤油	大匙 1/2
料理酒	大匙 1/2
みりん	大匙 1/2
顆粒だし	小匙 1/2
塩	小匙 1/4



【作り方】

- ① 米を研いで炊飯器に入れ、調味料を加えて水(分量外)を2合まで入れる。
- ② しめじは石づきを取り除き、ほぐす。油揚げは湯通しし、細かく切る。
- ③ ②を炊飯器に入れ、炊く。

1人分: <エネルギー339kcal 塩分2.2g>

くろこの豆知識

11月24日は和食の日。1と1で“いい”、2と4で“にほんしょく”です。これから、秋たけなわ。日本はちょうど実りの季節を迎え、五穀豊穡に感謝をささげる季節でもあります。

和食の献立の基本は最近見直されている一汁三菜。主食のご飯(米)を中心に汁物、主菜、副菜、副々菜の4種を組み合わせます。

日々、バランスを考えた一汁三菜を実践することは難しいと思います。けれども大切なのはバランス良く食べようという意識。そうすれば自然に、味わい、栄養、素材の変化がつけられるようになると思います。

医療安全管理室・苦情相談室

当院では、患者様やご家族からの医療安全に関するご相談や苦情、ご意見などに適切に対応するため、「医療安全管理室、苦情相談室」を設置し、**医療安全管理者(看護師)**を配置しております。ご遠慮なくご利用ください。

皆様に安心して診療やケア、介護を受けていただけるようお手伝いさせていただきます。また、いただきましたご意見は病院のサービス向上に役立てていきます。

- ・相談内容については、秘密を厳守しております。
- ・相談されたことにより、不利益を受けることはありません。

◆窓口の設置場所

病院1階(受付右側) 医療安全管理室 / 苦情相談室

◆電話番号 0977-67-1211 内線 220

◆対応時間 月曜日～金曜日 8時30分～17時00分



医療安全管理室
苦情相談室
室長 清原 初美

より良い医療安全活動が展開できるよう努めていきたいと思っています。皆さん、質の高い、安全な医療を提供するための安全文化の構築と開かれた組織風土作りを目指していきましょう。よろしくお祈りします。



病院の理念

基本理念

すべての人々の健康を守り、
幸せな生活を支援する
医療法人春日会であること

- 1 地域に密着した医療法人春日会としての使命を果たすべし
- 2 その人が望み、かつふさわしい全人的医療・看護・介護・予防を行うべし
- 3 医療法人春日会職員としての自覚と情熱をもつべし

ご利用案内

受付時間/午前8:30~11:30 午後1:00~4:30

※救急患者は時間外でも受付・診療いたします

診療時間/午前9:00~12:00 午後1:00~5:00

休診日/休日、日曜日、祝祭日、盆休(8/14・15)

年末年始(12/31~1/3)

※救急患者はこの限りではありません

診療科目

整形外科	内科	呼吸器内科	リウマチ科
消化器内科	外科	放射線科	リハビリテーション科
循環器内科	麻酔科(ペインクリニック)		皮膚科

外来診療担当医表

	内科		総合診療		消化器内科		外科		整形外科		麻酔科 (ペインクリニック)		摂食嚥下外来	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
月	渡邊泰樹	鳥羽聡史	谷口一男		新垣淑辰		甲斐哲司		野口蒸治 佐々木伸一	黒木健次	平木達弘			伊東猛雄
火	伊東猛雄 鳥羽聡史	渡邊泰樹	谷口一男		—		—		黒木健次 永嶋 寛	野口蒸治	平木達弘			—
水	塚田 聡 井上 健	井上 健	—		新垣淑辰		甲斐哲司		戸澤興治 佐々木伸一	戸澤興治	—			—
木	渡邊泰樹 波津久睦二	鳥羽聡史 塚田 聡 (第1再来のみ)	—		新垣淑辰		甲斐哲司		黒木健次 別府医療	永嶋 寛	—			—
金	塚田 聡	伊東猛雄	谷口一男		第1のみ:新垣淑辰		甲斐哲司	大分大 大外科	野口蒸治 永嶋 寛	佐々木伸一	平木達弘			—
土	九州大学病院別府病院 (循環器・呼吸器/老年病内科)		谷口一男		第3のみ:新垣淑辰				第2・4 大分大学 医学部	第2・4 大分大学 医学部	平木達弘	—		—

※皮膚科[別府医療センター]:隔週の土曜日・午前

※整形外科の午後の診療は手術等により診療できない場合がございます。
なるべく午前中に診察いただくか、当日電話にてお問い合わせください。

※摂食嚥下外来は「完全予約制」となります。あらかじめお電話にてご予約をお取りください。

※急患及び手術の場合は、都合によりお待たせすることがございます。

Information

■求人情報 薬剤師・看護師・准看護師募集!

やりがいのある職場です。一緒に働いてみませんか。ご希望の方またはご質問のある方は、下記連絡先へご連絡ください。

TEL0977-67-1211 FAX0977-66-6673

E-mail:info@kuroki-hp.or.jp

入院相談、医療・福祉制度に関するご相談がありましたら
地域医療連携室へ

黒木記念病院 地域医療連携室

連携室/FAX0977-27-8771 E-mail:renkei@kuroki-hp.or.jp

平成30年9月1日~

交通案内



附属法人事業

医療法人春日会は、ケアミックス型病院事業を中心に、施設・在宅介護サービスなど幅広く、地域に密着した医療・看護・介護・予防を展開しています。

通所リハビリテーション くるき……………TEL0977-67-1212

総合ケアセンター くるき……………

居宅介護支援センター くるき……………TEL0977-27-6200

訪問看護ステーション くるき……………TEL0977-66-6928

ヘルパーステーション くるき……………TEL0977-84-7168

看護小規模多機能型居宅介護 くるき……………TEL0977-84-7184

デイサービスセンター くるき……………TEL0977-84-7186

障がい者ケアサポートセンター くるき……………TEL0977-27-6767

住宅型有料老人ホーム きずな……………TEL0977-84-7165

特定医療法人社団春日会

黒木記念病院

〒874-0031 大分県別府市照波園町14番28号

TEL0977-67-1211 FAX0977-66-6673

http://www.kuroki-hp.or.jp

総合ケアセンター くるき

〒874-0024 大分県別府市平田町2番2号

TEL0977-84-7165 FAX0977-84-7178

http://care.kuroki-hp.or.jp